2 保険料に関する事例

保険料に関する不満

番号	相談者	苦情内容	対応者	対応結果
1	家族	介護サービスを使わなかったにもかかわらず、保険料の納付義務があるのはおかしい。	保険者	保険料制度の概要をお伝えし、亡くなるまでの保険料は納付義務があると伝えた。
2	利用当事者	頼んでもいないのに納付書が届いた。	保険者	傾聴し、介護保険という制度上、皆様にご負担いただく必要があると案内した。
3	利用当事者	年金機構からの通知を持参され、天引きされている金額の根拠を確認したいとのことで、パンフレットを使用し確認していただいた。根拠はご理解いただけたが、「保険という名前なのに年金から勝手に天引きされ税金と同じ」「将来介護保険を利用することもないため払いたくない」「12段階以上の段階がなく、高額所得者の負担が軽すぎる」等の苦情を訴えられた。	保険者	傾聴し、介護保険制度について説明した。
4	利用当事者	被保険者より入電。65歳になり年金受給がないにもかかわらず、保険料を納付しなければならないのはおかしいとの苦情である。	保険者	介護保険料は65歳到達後保険者に納付いただくものであり、年金受給の有無と介護保険料賦課の制度は別のものであることを説明した。